

① コーチ

- ・ デフ選手個人のスキル向上やチームオフェンス・ディフェンスの完成度を高めることができること
- ・ チームの方針にあった技術指導やチーム練習を思案し、具体的に伝達や行動ができること。
- ・ 自国や他国の分析を行い、そのデータを基に強みや弱みを明確にし、ゲームプランを監督とともに作り上げることができること。

② マネージャー

- ・ 練習や試合の中で必要な用具を準備し、時間の管理を行い、チームがスムーズに活動できるようにサポートができること。
- ・ 試合中ベンチの中で整理整頓を行い、デフ選手が必要としている飲み物の補充や栄養の補充などを行えること。
- ・ 試合中にベンチでスコアを書いたりし、監督・コーチと連携してチームの勝利に貢献できること。

③ トレーナー

- ・ デフ選手が怪我をしないようにゲーム前のウォーミングアップやストレッチを含め、的確な準備を行うことができること。また、必要に応じて選手の身体的要素や状況を監督、コーチに伝えることができること。
- ・ デフ選手が怪我してしまった場合、状況を確認し迅速な対応ができること。
- ・ デフ選手の状況を見て、身体について適切な助言ができること。

4. デフバスケットボール日本代表選手

デフバスケットボール日本代表選手は、デフの日本を代表するチームの一員として国際大会でのメダル獲得を目指し、チームの方針に従って行動をする。そのため、以下の基準に基づき、デフ選手を選考する。

(1) 聴覚基準と資格要件

- ・ 良耳の平均聴力が 55dB 以上であり、一般財団法人全日本ろうあ連盟の会員および JDBA の会員であること。
- ・ ICSD（国際ろう者スポーツ委員会）のオーディオグラム登録済みであり、ICSD の ID が交付されていること。
- ・ デフオリンピックや国際大会では薬物ドーピング検査に加え、詐聴のデフ選手がいなか抜き打ちで聴覚ドーピング検査が行われ、違反した場合はチームごと失格となることを理解し、適切に申請できていること。